

教科の研究 主題	社会的事象について事実を正しく認識し，調べた結果の検証を通して，社会的な見方・考え方を育てる社会科学学習の在り方
-------------	--

授業の テーマ	享保の改革の事例を通して，社会背景からくる江戸時代初期の幕藩体制の揺らぎを，その原因と結果を結び付けながら検証することができる学習指導法の工夫
------------	---

1 単元 産業の発達と幕府政治の動き

2 目標

- ・ 幕政改革について，幕府・諸藩・農民などの立場から，多面的・多角的なものの見方をしようとする。(関心・意欲・態度)
- ・ 幕府政治の改革が必要になった理由を，貨幣経済の広がりによる社会の変化，鎖国体制の終焉などから考えることができる。(思考・判断)
- ・ 幕政改革に関連する資料から，社会背景と結び付けて改革の内容や意義について調べることができる。(技能)
- ・ 新しい産業や文化の発達により豊かな社会が形成された一方で，幕藩体制の基盤がゆるみ，百姓一揆が起きたことや，その中で差別が強化されたことを理解することができる。(知識・理解)

3 単元について

本単元は，徳川家康が基盤をつくった幕藩体制が安定期を迎え，身分制の確立，諸産業の発達を見るに至ったが，安定しているがゆえに，貨幣経済の浸透とともに出現した貧富の差の増大と農村部の年貢徴収体制の崩壊が起こりつつある社会状況を理解することをねらいとしている。一見すると磐石に見えた幕藩体制であるが，少数派である武士が多数派の百姓をきびしい制度によって統制しようとした点に，限界とゆがみが徐々に現れてきたことにその原因がある。これらの社会構造の変化を，武士や百姓それぞれの立場から多面的・多角的に考察していくところに本単元の意義があると考えられる。

本学級の生徒は，社会科の学習において調べること，作業すること，まとめることなどに熱心に取り組むことができる。一方で，社会的事象に対して，既習の知識や自分自身のそれまでの経験とつなげて自分の社会観を形成することができていない。

本単元では，資料に記されてある内容を単に羅列的に理解するのではなく，あくまでも考えを形成するための手段として活用できるようにしていきたい。また，グループ学習を通して丹念に資料を読み取り，その内容が意味していることは何かを考える過程を繰り返すことにより，生徒なりの社会観が生まれてくると考える。

4 学習計画 (6時間取り扱い)

時間	学習過程	目標	評価規準
1	産業の発達	農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ，幕府や藩が産業を奨励した理由を考察することができる。	農業の進歩や諸産業の発達の様子を農具の種類や産業別の特長から調べ，幕府や藩が産業を奨励した理由を財政面から考えている。 (思考・行動観察，ワークシート)
1	都市の繁栄と元禄文化	三都をはじめとして，江戸時代に都市が発達した理由と文学や浮世絵などのこの時代の文化の特色を理解することができる。	三都の位置やその特色を整理し，江戸時代に都市が発達した理由と庶民に広まった文学や浮世絵などのこの時代の文化の特色を理解している。 (知識・行動観察，ワークシート)
1 本時	享保の改革と社会の変化	どのような社会的背景により享保の改革が必要とな	どのような社会的背景により享保の改革が必要となったのか

		ったのかについて調べ、改革によりどのような社会的変化が見られたのかについて検証し、当時の社会に対して自分なりの考えをもつことができる。	について幕府の財政面などから調べ、改革によりどのような社会的変化が見られたのかについて武士、百姓それぞれの立場から検証し、当時の社会に対して自分なりの考えをもっている。(思考・行動観察, ワークシート)
1	幕府や諸藩の改革	田沼意次と松平定信の政治を比較し、目的・方法などについて共通点と相違点を考えることができる。	田沼意次と松平定信の政治を比較し、目的・方法などについて共通点と相違点を社会背景と関連付けて考えている。(思考・行動観察, ワークシート)
1	新しい学問と文化	国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を考えることができる。	国学と蘭学の特徴を対比させながら調べたり化政文化の特色を元禄文化と比較して調べたりして、社会の動きとの関連を考えている。(思考・行動観察, ワークシート)
1	外国船の接近と天保の改革	外国船の接近とそれへの幕府の対応、大塩の乱、天保の改革について調べ、幕府政治にどのような変化が見られたのかを理解することができる。	外国船が接近してきた理由とそれへの幕府の対応の仕方、大塩の乱、天保の改革の社会的背景について調べ、幕府政治にどのような変化が見られたのかを理解している。(知識・行動観察, ワークシート)

5 本時の学習

(1) 目標

- どのような社会的背景により享保の改革が必要となったのかについて調べ、改革によりどのような社会的変化が見られたのかについて検証し、当時の社会に対して自分なりの考えをもつことができる。(思考・判断)

(2) 準備・資料

- 教師 徳川吉宗の肖像画 ワークシート 享保の改革に関連する資料シート
- 生徒 資料集『歴史の資料』

(3) 板書計画

3 / 3

ジャッジを下せ！
享保の改革は、本当に社会を立て直すことができたのだろうか？

当時の社会

社会を立て直せたか

徳川吉宗像

- ・ 長身 (182cm)
- ・ 色黒
- ・ 計算高い
- ・ 新し物好き
- ・ 好き嫌いがはっきりしている

改革の内容

(4) 展開

学習活動及び内容	基礎的・基本的事項	教師の支援・留意点
<p>1 本時の学習課題について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ジャッジを下せ！ 享保の改革は、本当に社会を立て直すことができたのだろうか？</p> </div> <p>2 徳川吉宗の人物像のイメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 御三家初の将軍 ・ 182cmの長身，浅黒い肌 猪狩りのエピソード ・ 幼少から計算に長けていた。 ・ 即断即決（新井白石を更迭） ・ 海外に目を向けていた。（象や外国の学術書を輸入） ・ TVドラマ『暴れん坊将軍』 <p>3 享保の改革が「なぜ」「どのように」行われ，その結果，その後の社会を立て直すことができたのかについてグループ内で検証する。 [改革必要性] 社会背景より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の安定により生活が豊かになり，出費の増大を招く。 <p>[改革内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質素・儉約の奨励 ・ 上米の制 ・ 足高の制 ・ 目安箱 ・ 公事方御定書 ・ 町火消の整備 <p>[結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幕府収入の増加による一時的な財政再建 ・ 貨幣経済が農村にまで浸透し，貧富の差が増大する。 ・ 一揆の増加 <p>4 検証結果を発表し，互いの考え方を比較検討しあう。</p> <p>5 学習をふりかえって自己評価をし，次時の見通しをもつ。</p>	<p>享保の改革</p> <p>8代将軍徳川吉宗 御三家</p> <p>身分制度 質素・儉約 上米の制 参勤交代 目安箱 年貢（5公5民） 百姓一揆 打ちこわし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3代将軍徳川家光までに確立した幕藩体制の基盤が揺らぎ始め，江戸幕府が改革の必要性に迫られたことを確認し，その改革が本当に社会を立て直すに至ったかについての検証を学習の柱とすることを，既習事項からつかむことができるようにしたい。 ・ 改革の中心人物である8代将軍徳川吉宗の人となりについて，クイズ形式のやりとりからイメージをふくらませるとともに，幕府の大改革を成し遂げるにふさわしい人物であったかについて生徒なりの判断を下し，これからの追究の意欲づけをしたい。 ・ エピソードなどには深入りせず，享保の改革の中心人物であることを基礎的・基本的事項の一つとして印象づけるにとどめるようにする。 ・ 検証の柱立てや方法，検証に必要な資料を準備し，グループ内で主体的に学習が進められるようにする。 ・ 検証の方向性としては，改革内容が社会的背景とつながっていることを常に意識できるように，ワークシートの内容を工夫する。 ・ T1，T2それぞれ担当グループを決め，検証の方向性や検証方法及び内容が適切であるかどうかについて，実態に応じた助言・指導ができるようにする。 <p>◎ 検証が進まないグループについては，この改革は身分制度の中で誰のために行われたものであるかという観点で考えるように助言する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>享保の改革にが，社会にどのような変化をもたらしたかについて，論拠立てて考えている。（思考・判断，話し合い）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相互評価の場として，他のグループの発表内容と比較検討しながら，自分たちの考えを再構築できるようにする。